

千葉市災害対策本部 本部員会議 1 1 回目

1 日時

令和元年9月18日(水) 午前9時00分～

2 議事内容

(1) 本部長からの指示事項

- ・各区、各部で情報共有を行い、残っている局所的な停電を無くしていただきたい。
- ・本日午後から雨の予報であるため、破損した家に住んでいる人達には一刻も早くブルーシートの養生を行うなど、都市部を中心に支援していくこと。
- ・ボランティアをしたい人が増えていると思う。その気持ちを発揮できるように、積極的にボランティアのニーズ(災害ごみの発生や家の片づけなど)を見つけ、社協と連携していくこと。
- ・防災意識が高まっている今、市民に準備しておいてもらいたいことを発信していくこと。(ネットが使える人でも安全安心メールや yahoo 防災への登録など)。
- ・県内他市の応援が必要な箇所には支援をしていただきたい。
- ・千葉市単独だと激甚災害指定を受けられない可能性がある。長期停電という想定外の災害が発生しているということを県南部と一緒に、今日、明日ぐらいに国(菅官房長官、二階幹事長(自民)など)に要望しに行く。
- ・国に要望するため、今回の災害の特殊性、被害規模がわかるものを各部から総合政策部に提供すること(殴り書きの資料で構わない)。

(2) 各部からの報告

事務局

- ・資料で説明(被害状況、避難者数、東電から入手した停電状況(17日12時現在))

消防部

- ・資料2部で説明。

市民部

- ・市政だより(災害臨時号)について説明。
⇒これから10月の市政だよりが配られると、この非常事態に平時のものがでてしまう。
市民部の良い判断だった。(市長)

総務部

- ・災害対策本部会議は、集まる対象を絞っていくことを考えている対象者については改めて本部より連絡する。
- ・北海道から派遣された自衛隊が入浴施設「熊の湯」を提供してくれる。各部でも広報をお願いしたい。

都市部

- ・ブルーシート養生作業については、昨日奥村組と3班編成で11件実施した。
- ・本日も奥村組他1社と供に2班編成で行う。
- ・ブルーシートの設置要望については、残り117件ある。
- ・本日は、雨が降った時点で作業を中止する。再開については、雨が上がった後、判断する。
- ・民間業者も少し手が空いてきたため、有料になるがブルーシートの設置ができる旨、広報する。
- ・住宅被害の相談は、区に相談窓口を設置したこともあり、倍増している。(昨日140件、合計350件程度)
- ・り災者用住宅は残り6戸、すでに16戸入居している。
- ・県営住宅やURの物件についても交渉中。
- ・被災者住宅再建資金利子補給金についても新たに検討していく。

建設部

- ・昨日620袋の土のうを作成。土のうの残数1,700程度、必要に応じて作っていく。
- ・昨日、国交省より砂を24m³もらった。本日も同様に届く予定。
- ・倒木処理は東電関係以外のものが30箇所あったが、パトロール等により、56箇所となっている。市建設業協会と連携して処理していく。

水道部

- ・応急給水は引き続き3箇所を実施する。
- ・県水で給水を行っている下大和田町は実績0件。
君津でニーズがあるため、県水はそちらに移動している。
- ・プッシュ型給水は6地区で実施。昨日、全地区(6地区)で復電を確認した。
- ・もう少しすればニーズが無くなると思われるため、川崎市には本日昼時点で支援を継続してもらおうか否かを判断していくと思われる。

経済農政部

- ・千葉サイクル会館に入館している東電の復旧作業員が9名と減ってきている。

- ・当初閉館を検討していたが、東電が今後千葉県南部の復旧拠点として活用したいとの話があった。
- ・昨日、農業被害を報告したが、千葉県から米農家の被害額の計算方法に指摘があり、減額となる見込み。
- ・一部地域の停電対応のために宿泊施設を設置した。緑区に経済の職員を配置している。
- ・宿泊施設を提供してもらおう民間企業から、会社名を公表されると問い合わせが企業側に来るため、公表しないでほしいとの話があった。報道機関からは公表しないことについてクレームがあったが、公表しない方針で行く。
- ・宿泊施設利用の申し込みは、昨日0件。東電が行うはずだったお知らせ文のポスティングが行われなかったためだと思われる。ポスティングは本日東電で実施する。

保健福祉部

- ・緊急通報システム利用者で連絡がつかないところの安否確認は全て終わっている。
- ・いきいきプラザの入浴施設の利用は122人あった。引き続き行っていく。
- ・ボランティア関係のニーズは50件程度、マッチングしたのは20件程度。
⇒現在、ボランティアの募集はしていないのか？（市長）
⇒今、社協に登録しているボランティアだけで対応できるため、募集はしていないが、ニーズが増えてきたら募集を検討する。（保健福祉部）

教育部

- ・小中学校5箇所の施設開放を開始した。利用は平山小学校1名、土気中1名。
- ・牛乳製造工場は停電中。牛乳の確保もできない状況と聞いている。
- ・小中学校で牛乳の提供ができない状態。
- ・中学校は牛乳の代替品として角チーズを提供していく。小学校は今後検討。
⇒他の業者からの牛乳の確保は難しいのか？（市長）
⇒メーカーごとに供給する酪農家が決まっており、他からの確保が難しい。
- ・大宮給食センターが復電し、9月17日から中学校に給食を提供。
- ・小学校の給食は9月17日から更科小と椎名小以外は提供。本日から更科小も提供でき、残る椎名小は20日からの予定。

市長：体育館が破損している20箇所についての授業などの対応はどうするのか。近隣の体育館などをつかっていくことはできないのか？

教育部：まずは、校庭や武道場の活用などできることをやっていくが、近隣の体育館が遠いところは、授業で使うことがむずかしい。

環境部

- ・災害ごみの受付件数を報告。
- ・若葉・緑環境事業所のシャワー開放状況について報告。本日で終了とする。
- ・倒木の仮置き場として新内陸最終処分場の脇を確保している。今日中に鉄板を敷くため、明日以降、建設部関係の倒木の搬入が可能となる。
- ・自衛隊が切った倒木が現地に残ったままになっていると聞いている。今後、市で民地の倒木を受け入れる量が読めない。
- ・県内被災他市からの搬入も検討してみるが、情報収集が今後の課題となる。

議会部

- ・分科会の日程が縮小となった。
- ・議会として義援金を集める動きがある。

緑区

- ・本日は残りの3町（高津戸、土気、高田）をプッシュ支援していく。
- ・倒木の情報は土木事務所に区職員を派遣して情報提供する。
- ・り災証明の交付は200件程度来ている。
- ・被災者の健康のケアも行っている。

若葉区

- ・停電状況の確認は、自治会長の報告を基に現地調査を行っている。
- ・昨日時点で6地区30世帯の停電を確認している。
- ・LEDランプとヘッドライトはその地区に配布済み。
- ・これまでは物資の支援だったが、これからは各戸の情報を収集しながら社協と連携して支援していく。
- ・市境（八街市付近）でも停電が続いている。
- ・り災証明は昨日までに194件の申請あり。
- ・避難所は2箇所開いている。
- ・千城台の避難所は市営住宅の入居が決まったので22日閉鎖予定。
- ・八街市の人が避難所にいる。八街市の停電は長期化しそうである。

中央区

- ・り災証明は210件受理。（昨日69件受付）
- ・可能であれば今週末の3連休で現地調査に入ってもらいたい。
- ・り災証明の交付でイレギュラーな申請がある。本部で方針を示してもらいたい。
（例）寝たきりの本人が申請書を書けないため、代理人が申請（親族）に来たが、本部は委任状を書かせるよう指示あり。どうやって本人に書かせるのか。

⇒り災証明の件は本部で確認する（本部より）

・本部会議資料の停電情報だが、地番が乗っている地域は停電状況を追えるが、その周辺が復旧しているがわからない。欄外の地番の地域周辺に、東電の検針員に確認してもらえないか、本部から依頼してもらいたい。

⇒東電にはスマートメーターで確認できないか要望中。検針員は月 1 回の検針であるため、対応の可否を東電が検討中。（本部より）

花見川区

・局所的な停電がないかを自治会や民生委員、職員で確認していく。

・犢橋町で樹木に囲われている 1 軒家が停電していることがわかった。支援物資を届け、声掛けをしている。本線は通電しているが、支線が断線している。昨日、東電に情報提供済み。

・犢橋町のような地区が他にもないか現地で情報収集を行っている。

・小規模な保育施設と連絡がとれないとの話があったため、訪問した。電気はきているが、インターネットと電話（au）が通じていない。

その他

直接台風と関係ないが

大網の季美の森が昨日の朝、また停電している

復旧後、再度停電するケースは千葉市でも起こりうるので注意が必要。

（3）今後の予定

・本部は引き続き現状の体制をとりつつ会議出席者は絞っていく。追って通知する。

以上